

# 安全ニュース

NO. 3  
令和2年12月

公益社団法人  
能代市シルバー人材センター  
安全推進委員会



## 令和2年度事故発生状況

11月末現在、傷害事故が2件、賠償事故が1件発生しています。

日時	性別等	種別	事故の状況
8 / 4 (火) 08:25	男 78 歳	傷害	松の木を剪定しようと三脚脚立の5段目(約1.5m)まで登ったところ、バランスを崩して転落し、左側肋骨1本を骨折した。
9 / 17 (木) 11:00	男 74 歳	賠償	草刈り作業中に、小石を飛散させて隣接する住宅の窓ガラスを破損させた。
10 / 6 (火) 11:30	男 71 歳	傷害	街区公園の草刈り作業中に、地面から突き出ている鉄筋に刈り刃(チップソー)が接触し、チップが飛散。作業員本人のアゴに突き刺さる。

足元及び周辺の状況を確認し、  
しっかりした安全対策をしましょう!



### 8月~10月 安全パトロール レポート



ケース1	共同での草刈り作業の際、作業空間が十分でない場合があった。
安全委員会より	リーダーにホイッスルを持たせるなどの工夫をし、作業空間の確保をしましょう。

安全パトロール総括	
安全委員会より	<p>◇4月~12月の間に傷害事故が3件、賠償事故が1件の合計4件の発生しました。前年と比べて2倍に増加しています。「安全は全てに優先する」「安全無くして就業なし」を念頭に置き、安全就業をお願いします。</p> <p>◇多くの方が、作業に適した服装・履物・保護具を着用して就業していました。今後も継続してお願いします。</p>

令和2年度 安全スローガン  
「いつまでも 働く喜び 無事故から」

# 転倒災害発生場所ランキング

## 第1位は駐車場内

冬期間きおける転倒災害は駐車場で一番多く発生しています。

駐車場は朝晩の気温の低い時間帯に使用することが多く、特に車から降りた直後に転倒するケースが多くなっています。駐車場内は車の走行により圧雪状態となり、滑りやすい状態が作られることが原因と考えられます。

第2位は、屋外通路です。複数の働いている方が同じ場所を歩くため、通路が踏み固められて滑りやすくなります。

第3位は出入口です。屋内から屋外に出るとき、歩行環境が変化して転倒することが多く履物も内履きのまま外に出て転倒するケースが目立ちます。



## 今からできる転倒防止対策

### ①屋外通路に融雪剤の設置

融雪剤は捲いてから1時間後に効果を発揮します。適宜融雪剤を散布して凍結防止を行いましょう。

### ②滑りにくい靴の着用

滑りにくい靴を着用して外出、作業しましょう。

### ③照明で明るさ確保

冬季は暗くなるのが早いので照明で足元を確認しやすくしましょう。

### ④体操などで体をほぐす

朝7時から9時頃が転倒事故の多発時間です。体操などで体を目覚めさせましょう。

### ⑤慌てることも危険要因！

焦っていると注意も散漫になります。時間に余裕をもって行動しましょう。



## 正しい靴選びが重要

～靴底のメリット・デメリット～

### 【金属ピンタイプ】



【メリット】  
アイスパーンに強い  
【デメリット】  
床タイルでは滑りやすい

### 【柔らかいゴムタイプ】



【メリット】  
スタッドレスタイヤと同等の効能あり  
【デメリット】  
経年劣化が早い

### 【深溝タイプ】



【メリット】  
湿雪でのグリップ強い  
【デメリット】  
アイスパーンで滑る

### 【耐滑材配合タイプ】



【メリット】  
ガラス繊維・アルミ粒子・セラミックなどは効果あり  
【デメリット】  
配合剤により効果大差有、購入時にわかりづらい

